

Media release

November 23, 2020

## マクラーレンの次世代「ハイ・パフォーマンス・ハイブリッド」スーパーカー、【McLaren Artura】の発売が決定

- スーパーカーの McLaren Artura (マクラーレン アルトゥーラ) は 2021 年前半に発売
- マクラーレンが誇る電動化技術をスーパーカー・クラスに初めて適用
- 新たな「ハイ・パフォーマンス・ハイブリッド (HPH)」の章が始まる

マクラーレン・オートモーティブは、来年、新モデルの McLaren Artura を発売します。ハイブリッド・パワートレインに関するエンジニアリングの専門性を結集した「ハイ・パフォーマンス・ハイブリッド (HPH)」は、半世紀以上におよぶレーシングカーとロードカーにおけるマクラーレンの知識、経験、そしてエンジニアリング技術を生かして開発されました。

あらゆる面でまったく新しい McLaren Artura は、先駆的なイギリスメーカーによる新時代の幕開けを告げるモデルです。ここで生かされる電動化技術は、まず 2012 年にベールを脱いだハイブリッド・ハイパーカーの McLaren P1™ で実証され、今年から生産に入ったハイパーGT の Speedtail においては、マクラーレン史上最速の最高速度 403km/h (250mph) を誇ります。これらのモデルに続く McLaren Artura は、ハイ・パフォーマンス・ハイブリッドシリーズ初となるスーパーカーです。

「McLaren Artura は、あらゆる要素において新しく設計されています。それはプラットフォーム・アーキテクチャーから、ハイ・パフォーマンス・ハイブリッド・パワートレイン、そしてボディのエクステリア、インテリア、最先端のドライバー・インターフェースにまで及びます。数十年にわたる先駆的な超軽量のレーシングカーやロードカーのエンジニアリング技術を生かし、電動化に関するあらゆる専門性を注ぎ込んでいます」

マクラーレン・オートモーティブ CEO、マイク・フルーウィット

McLaren Artura に搭載される、まったく新しいコンパクトなツインターボ V6 ガソリンエンジンは、電気モーターとの組み合わせにより、新しく軽量のハイ・パフォーマンス・ハイブリッドパワートレインを構成します。このパワートレインは、より大排気量のマクラーレン V8 エンジンのパフォーマンスを保持しながら、低回転域でのトルクレスポンスの向上、という新たなメリットも加わることで、躍動感あふれる加速を実現します。また電力のみでの走行も可能で、排出ガスゼロの市街地でも利用できます。

McLaren Artura は、まったく新しいプラットフォーム・アーキテクチャーを採用した最初のモデルとなります。電動化のために最適化されたこのアーキテクチャーの設計・製造は、イギリスのマクラーレン・コンポジット・テクノロジー・センターが担当しています。マクラーレンは、モータースポーツをルーツとする超軽量のエンジニアリング理念を、McLaren Artura でさらに押し進めました。例えば

ハイ・パフォーマンス・ハイブリッド・システムの採用により追加された重量は、シャシー、ボディ、パワートレインの隅々まで軽量化技術を適用したことによりほぼ相殺され、加えてあらゆるマクラーレンが誇る卓越したダイナミクスをベースとした、マクラーレン・カーボン・ライトウェイト・アーキテクチャー（MCLA）を採用したことで、クラス最軽量のアドバンテージを提供します。

まったく新しい McLaren Artura に関するさらなる詳細は、今後数カ月で明らかにされます。最新の情報を希望されるお客様は、マクラーレン正規販売店にてご登録いただくか、以下のサイトをご覧ください。

<https://cars.mclaren.com>

---

マクラーレン・オートモーティブについて：

マクラーレン・オートモーティブは、ラグジュアリーかつハイパフォーマンスなスーパーカーを製造しています。自動車は全て、英国サリー州ウォーキングのマクラーレン・プロダクション・センター（MPC）において、手作業で組み立てられています。2010年に設立され、現在はマクラーレン・グループ最大の企業です。

GT、スーパーカー、モータースポーツおよび究極（アルティメット）のモデルで構成されている、マクラーレン・オートモーティブの製品ポートフォリオは、世界中の32以上のマーケットの85以上の正規販売店にて販売されています。

マクラーレンはパイオニアとして絶えず限界に挑戦しています。1981年、マクラーレンは、McLaren MP4/1を通じて、軽量かつ強固なカーボン・ファイバー製モノコックシャシーを初めて Formula 1 に導入しました。

1993年には、ロードカーの McLaren F1 を設計・製造。以来、製造する車両全てにカーボン・ファイバー・シャシーが採用されています。また、アルティメットシリーズのモデルとして、マクラーレンは、ハイブリッド・ハイパーカーである McLaren P1™ を業界に先がけて投入しました。

2018年のグッドウッド・フェスティバル・オブ・スピードにて、12億ポンドを研究開発に投入し、2025年までに18のニューモデルを導入するという、新しいビジネスプラン「Track25」を発表いたしました。

2018年、マクラーレン・オートモーティブは5,000万ポンドを新規投資し、イングランド北部のシェフィールド地域に、マクラーレン・コンポジット・テクノロジー・センターを開設しました。この施設では、軽量のマクラーレン・カーの核となる、次世代の「タブ」が製造されることになっています。

2019年にマクラーレンは、600LT Spider、新しいGT、ならびにサーキット専用の Senna GTR を投入し、620R と McLaren Elva を発表しました。

イノベティブなスポーツカーとスーパーカーシリーズを開発、設計および製造するために、マクラーレン・オートモーティブは、専門的な知識と技術をもつ世界トップレベルの企業と提携しています。アクゾノベル、アシャースト、ワンプラス、デル・テクノロジーズ、ピレリ、リシャール・ミル、トゥミが主なパートナー企業です。

マクラーレン・グループについて：

マクラーレン・グループは、ラグジュアリーなオートモーティブとテクノロジーにおける世界的リーダーであり、マクラーレン・オートモーティブ、マクラーレン・レーシングおよびマクラーレン・アプライドという3つのビジネスで構成されています。

オフィシャルウェブサイト：<https://cars.mclaren.com/>

オフィシャルフェイスブック：<https://www.facebook.com/mclarenautomotivejpn/>

オフィシャルインスタグラム：<https://www.instagram.com/mclarenautojapan/>

マクラーレン・オートモーティブ アジア 日本支社 オフィシャル ユーチューブ：  
[こちらをクリックください](#)

リージョナル PR マネージャー

根岸 美穂子

Phone: 03-6675-4313 / Email: mihoko.negishi@mclaren.com

または

広報事務局（コスモ・コミュニケーションズ / コミュニオン）

担当：小川 / 山内

Phone: 03-5468-5278 / Email: jp.press@mclaren.com